

学習内容報告書

学校名	阿南市立大野小学校
授業者	小堀 訓子

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

那賀川調査隊+

1-2. 学年

4年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間，国語，社会

1-4. 単元の概要

<概要>

2020年度前期には、4年生総合的な学習の時間での「那賀川調査隊+」の学習を中心に、那賀川の学習から発展として海についての学習にも取り組んだ。また、総合的な学習の時間及び社会科で学習したことと関連させ、国語科「新聞を作ろう」の学習ではさらに視野を広げ、川や海の環境問題をテーマに1人1枚新聞づくりを行った。

2020年度後期では、「那賀川調査隊+」の学習を通して見えてきた那賀川や海の現状と課題について話し合い、ペットボトルのゴミの減量をめざして啓発活動に取り組んだ。

<主な学習活動の流れ>

○川を知る 4年 総合，4年 社会

実際に那賀川へ行き、様々な調査活動を実施した。Part 1では、自分たちでできることに焦点を当て、調べるテーマごとにグループに分かれて調査活動を行った。Part 2では、国土交通省那賀川河川事務所の協力を得て、那賀川にいる魚から見えてくる那賀川の環境の変化について学んだ。Part 3でも国土交通省那賀川河川事務所の協力を得て、アユの産卵場づくりの体験や那賀川の野鳥観察を行った。

また、社会科「水はどこから」では、川が自分たちの生活を支えるかけがえのないものであることを学習した。

○海を知る 4年 総合

校区を流れる那賀川とつながっている「海」に焦点を当て、プロサーファーとして世界で活躍している阿南市出身の武知実波さんから実際に見てきた日本の海や世界の海についての話を聞いた。武知さんは現在千葉県在住であるため、当日はテレビ会議システムを活用して学習を進めた。

また、校外学習として「徳島県立牟岐少年自然の家」及び「うみがめ博物館カレッタ」へ行き、海の素晴らしさを知るとともに、うみがめが産卵のために大浜海岸へ上陸している数が減少していることを知った。

○新聞を作ろう 4年 国語

川や海の問題をテーマに1人1枚新聞づくりを行った。総合的な学習の時間や社会科の学習に加え、様々な環境問題を取り上げている書籍を数多く準備し、個々の興味・関心に応じた新聞づくりができるような環境を整えた。

○川や海を守る 4年 総合

那賀川の河口付近に流れ着いてきたゴミを掃除することで海洋ゴミ問題を身近なものとして体感した。流れ着いていたゴミの中で最も多かったのがペットボトルであることに気づき、ペットボトルゴミを減らすために自分たちができることを考え、オリジナルマイボトルの製作とペットボトルのリサイクルに取り組んだ。それらを大野小学校の児童や保護者等に配付し、啓発活動を行った。

また、参観日には「学習のまとめ発表会」を実施し、これまで学習したことや未来を創る担い手としての決意を保護者の前で発表した。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

本校では、4年生の総合的な学習で校区内に流れている那賀川を題材に学習を進めている。該当学年だけでなくその取り組みを知るほかの学年も、その川の水が自分たちの生活を支えてくれているということを知っており、那賀川に親しみをもっている。

本年度は今までの学習からさらに視野を広げて、那賀川からつながっている海についての学習へと発展させる。この学習から、自分たちの生活が自分たちの住んでいる地域だけではなく、世界や未来にもつながっていることを知り、自分たちがよりよい未来を創る担い手として何ができるのかを考える契機としたいと考え、本単元を設定した。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・川だけでなく海も自分たちの生活と深くかかわっていることを知ることで、環境問題・社会問題に関心をもつ。
- ・自分たちが住んでいる地域の海や川に愛着をもち、大切にしようとする意欲をもつ。
- ・海洋問題を自分の問題としてとらえ、よりよい未来を創る担い手として生涯を通して解決しようとする意欲をもつ。

1-7. 単元の展開（全82時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
8	○那賀川調査隊 Part 1 自分たちでできることに焦点を当て、調べるテーマごとにグループに分かれて調査活動を行った。	<p><指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・那賀川から連想することをイメージマップに書かせ、調査内容を絞り込む。 ・グループを編成し、調査活動の計画を立案する。 ・安全な活動ができるように活動場所の下見等の事前準備を行う。 ・那賀川での活動中は、安全に配慮する。 ・活動の振り返りを行う。 <p><評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ・那賀川について興味・関心をもち、主体的に調査しようとしている。

		<ul style="list-style-type: none"> ・調査活動から分かったことや疑問に感じたことなどを振り返り、これからの活動への意欲を高めている。
5	<p>○日本の海 世界の海</p> <p>プロサーファーとして世界で活躍している武知実波さんを講師として招聘し、武知さんが実際に見てきた日本の海や世界の海についての話を聞いた。</p>	<p><指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師の武知さんのプロフィールを事前に児童へ紹介する。 ・児童が質問したいと考えていることをまとめ、武知さんに事前に知らせる。 ・機器の接続を行う。(事前テスト, 当日) ・学習の振り返りを行う。 <p><評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ・武知さんの話から、海の素晴らしさを感じ取り、大切にしたいという思いをもっている。 ・日本の海や世界の海の現状を知り、自分たちができることを考えている。 ・世界で活躍する先輩からの話を聞き、自分の将来について考えようとしている。 <p><外部連携></p> <p>講師：武知実波さん, 接続機器等サポート：鳴門教育大学</p> <p><使用教材等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・iPad ・テレビ ・デジタルカメラ
8	<p>○水はどこから</p> <p>川が自分たちの生活を支えていることを知り、その川を守るために自分たちには何ができるのかを考えた。</p>	<p><指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・阿南市の水道事業について資料を用いて学習を進める。 <p><評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの生活を支えている那賀川を守るために自分がすべきことを考えている。
14	<p>○新聞を作ろう</p> <p>川や海の環境問題をテーマに1人1枚新聞づくりを行った。総合的な学習の時間や社会科の学習に加え、様々な環境問題を取り上げている書籍を数多く準備し、個々の興味・関心に応じた新聞づくりを進めた。</p>	<p><指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞の特徴を抑え、新聞作成の手順を示す。 ・阿南市学校図書館サポーターと連携し、「地球と環境」をテーマにブックトークを実施するとともに様々な書籍を準備し、児童の読書意欲を高める。 ・自分の伝えたいことが読者により伝わるような紙面の工夫を考えさせる。 ・1人1枚作製した新聞を掲示し、他の学年の児童等への啓発を行う。 <p><評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ・川や海を取り巻く様々な環境問題に興味・関心をもっている。

		<ul style="list-style-type: none"> ・川や海の環境を守りたいという思いをもち、それを伝えるために主体的に新聞づくりに取り組んでいる。 <p><外部連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ・阿南市学校図書館サポーター ・阿南市立図書館
5	<p>○那賀川調査隊 Part2</p> <p>国土交通省那賀川河川事務所の方から、那賀川にいる魚についての話を聞き、那賀川を取り巻く環境の変化について考えた。</p>	<p><指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容や日程等について、国土交通省那賀川河川事務所の方との事前打ち合わせを行う。 ・学習後、振り返りを行う。 <p><評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ・那賀川の変化について理解し、那賀川の豊かさを守りたいという意欲をもっている。 <p><外部連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省那賀川河川事務所
10	<p>○那賀川調査隊 Part3</p> <p>那賀川でアユの産卵場づくり体験を行うとともに、那賀川の野鳥の観察を行い、那賀川の豊かさを体感した。</p>	<p><指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動内容や日程等について、国土交通省那賀川河川事務所の方との事前打ち合わせを行う。 ・活動中は、安全に配慮する。 ・活動後、振り返りを行う。 <p><評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ・那賀川の豊かさを守りたいという意欲をもっている。 <p><外部連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省那賀川河川事務所 ・野鳥の会 <p><使用教材等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・借り上げバス
8	<p>○校外学習</p> <p>「徳島県立牟岐少年自然の家」及び「うみがめ博物館カレッタ」へ行き、海の素晴らしさを知るとともに、うみがめが産卵のために大浜海岸へ上陸している数が減少していることを知った。</p>	<p><指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程や活動内容等について当該施設との事前打ち合わせを行う。 ・校外学習計画を立案する。 ・学習後、振り返りを行う。 <p><評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ・海のすばらしさを知るとともに、人間がもたらした環境の変化が生物の命を危機にさらしていることに気づいている。 <p><外部連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ・徳島県立牟岐少年自然の家 ・うみがめ博物館カレッタ

		<p><使用教材等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・海のしおり作製のための材料
6	<p>○那賀川調査隊 Part4</p> <p>那賀川河口付近に流れ着いているゴミを収集・分別する活動を通して、那賀川及び那賀川からつながっている海の抱える環境問題について考えた。</p>	<p><指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習のねらいに適した活動場所の選定を行う。 ・校外学習活動の計画を立案する。 ・活動中、安全に配慮する。 ・活動後、振り返りを行う。 <p><評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んでゴミを収集・分別している。 ・漂着ゴミの分別を通して、ゴミの種類や量の傾向に気づいている。 <p><使用教材等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・借り上げバス ・ジュニアグローブ
12	<p>○守ろう川 守ろう海</p> <p>漂着ゴミの中で最も多かったのがペットボトルであることに気づき、ペットボトルゴミを減らすために自分たちができることを考え、オリジナルマイボトルの製作とペットボトルのリサイクルに取り組んだ。それらを大野小学校の児童や保護者等に配付し、啓発活動を行った。</p>	<p><指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの活動を振り返り、これからの取り組みの計画を立てるためにピラミッドチャートを活用する。 ・オリジナルマイボトルの製作計画を立案する。 ・ペットボトルのリサイクルについて調べ、製作活動の計画を立案する。 ・各学年と日程調整をし、啓発活動の時間を確保する。 <p><評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの活動から、自分たちの生活様式が招いている環境問題について理解している。 ・自分たちができることを考え、進んで製作活動や啓発活動に取り組もうとしている。 <p><使用教材等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイボトル用ラベル ・ドリンクボトル ・マジック ・図書「プラスチックプラネット」他
8	<p>○よりよい未来を創るために</p> <p>本年度最後の参観日に「学習のまとめ発表会」を実施し、これまで学習したことや未来を創る担い手としての決意を保護者の前で発表した。また、その様子を収めたDVDを作成し、この学習に協力してくれた方や以前から交流学習を行っている徳島県立阿南支援学校の児</p>	<p><指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表会の内容や実施方法等の計画を立案する。 ・SDGsについて、意義や内容を伝える。 <p><評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習してきたことを踏まえて、自分は将来どんな大人になり、未来を創る担い手としてどう生きたいかを考えている。

	童へ送った。	<p><外部連携></p> <ul style="list-style-type: none">・武知実波さん・国土交通省那賀川河川事務所・徳島県立阿南支援学校 <p><使用教材等></p> <ul style="list-style-type: none">・DVD
--	--------	--

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

プロサーファーとして世界で活躍している武知実波さんから実際に見てきた日本や世界の海についての話を聞くことを通して海のすばらしさや大切さに気づき、その海を守るためには自分たちがどのように行動できるのかを考える。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1. 本時のめあてを確認する。</p> <p>2. 武知実波さんの話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いつからサーフィンを始めたか。 ○プロサーファーとしての活動 ○世界ツアーでの様々な体験 ○バヌアツへのボランティア活動 ○オリンピック組織委員会での活動 <p>／・テレビに映っている武知さんに喜び、呼びかけに応じたり、手を振ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱心にメモを取りながら話を聞く。 ・武知さんが提示してくれた動画や写真を見て、驚きや感嘆の声をもらす。 <p>3. 武知さんに聞いてみたいこと等を質問する。</p> <p>／・サーフィンを始めたきっかけは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めてサーフィンをした時に感じたことは？ ・小学生の頃の夢は？ ・憧れの選手は？ ・サーフィンの大会での最高成績は？ ・武知さんにとって海はどんな存在？ ・海の生き物に出会った経験は？ ・海を怖いと感じたことは？ 	<p>*テレビ会議システムを接続し、授業準備を行う。</p> <p>1. 本時の学習内容及び講師の紹介を行う。</p> <p>2. ワークシートを配付し、メモを取りながら話を聞くように促す。</p> <p>／メモを取りながら話をきいている。（観察・ワークシート）</p> <p>3. 事前に考えていたことに加えて、武知さんの話を聞いて尋ねたいと思ったことも積極的に質問するように助言する。</p> <p>／武知さんの話をよく聞き、疑問に思ったことや興味をもったことについて進んで質問している。（観察・ワークシート）</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・日本の海と世界の海の違いは？ ・一番好きな海は？ ・サーフィンをしているときにプラスチックごみを見たことがある？ ・オリンピックに対する気持ちは？ <p>4. 学習を振り返り，感想を発表する。</p> <p>／・武知さんにとって海は大好きで大切な場所だと聞いて，守っていきたくと思った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分も世界の海を見てみたい。 ・武知さんのような人になりたいと思った。 ・サーフィンをやってみたくなった。 	<p>4. 自分が感じたことや考えたことを発表するように助言する。</p> <p>／自分の言葉で思いを発表している。(発言)</p>
--	--

3. 今回の活動の自己評価

年度当初は，新型コロナウイルス感染症予防のため学校が臨時休校となってしまったため，活動をスムーズに始めることができなかった。活動を本格的に始めることができたのは，6月に入ってからになった。活動開始後も初めのころは，実施予定だった水質調査の天候不順及び河川の増水による中止等，思うように活動できないこともあった。

しかし，中盤以降は，国土交通省那賀川河川事務所との連携やテレビ会議システムの活用等により，多様な学習活動を展開することができた。何度も那賀川へ出かけて実際に体験したことやそこで出会った人やものにより，児童是那賀川やそこからつながる海，地球について考えを広げることができた。そして，自分たちの生活を見直し，将来どんな大人になり，どんな未来を創り出していきたいのかを一人一人が考えることができようになった。「出会い」と「考える」ことを繰り返す学習活動の展開が，児童のより深い学びを実現させたと感じている。

4. 今後の課題

児童の学びをより深くするためには，総合的な学習の時間を中心に据えた年間を見通した教科横断的な計画と多様に変化するその場に対応するための臨機応変な詳細な計画の両方が必要となる。そのためにも，カリキュラムマネジメントについての研修を積み重ね，学習活動全体を俯瞰する眼と活動を共にし児童の状況や考え・思いを見取る眼の両方をもつことが指導者として求められる。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真，画像，図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。